

シルバー  
*Silver*

しながわ

# 謹んで 新春のお慶びを申し上げます

日本庭園に真っ白な結晶が太陽の光を受け、さらに煌びやかに美しい冬を演出しています。こちらは、2012年1月24日に撮影した戸越公園の様子です。

このような底冷えの日でも公園に訪れる方たちに安らぎを感じてもらうため、外気に負けずに毎日会員さん2人で2時間の掃き掃除を行っています。



上は2月下旬に撮影された水仙です。水仙は春を告げる花と言われます。寒さが残る中、水仙と出会うと朗らかな春の訪れを感じ、新年度への意欲が湧きますね。

今年の干支は戌です。田出浩二会員に書いてもらいました。「犬」は一度にたくさんの赤ちゃんを産むことから安産祈願にあやかれることが多いです。今年こそ実りの多い年であります。

## 新春を迎えて

品川区長 濱野 健



会員の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新春をお迎えることとお喜び申し上げます。

品川区シルバー人材センターにおかれましては、都内でも有数の素晴らしい実績をあげられており、皆様の日頃からのご努力に対し、心から敬意を表するものでございます。

昨年も様々な分野で日本人の活躍が話題に上がりましたが、共通して印象に残ったのが「新しい事への挑戦」です。困難に立ち向かい更なる高みを目指すその姿は、とても逞しく勇気を与えるものでした。シルバー人材センターを取り巻く環境も時に厳しく、そして難しい課題が待ち受けていることもあるでしょう。しかし、その時こそが好機と捉え前向きに取り組むことが会員様の活躍の場を広げていくことに繋がると思います。

今、品川区ではシティープロモーション事業として区の魅力をホームページやPR動画等で区内外に積極的に発信しているところですが、「活気あふれる街の雰囲気」は区の魅力の一つですが、活気を生み出すには地域で活躍する人々の存在が不可欠です。今年41周年目の新たな一歩を踏み出す品川区シルバー人材センターにその役割を担っていただくことを、品川区として大いに期待しております。今後もセンターが発展していくよう支援に努めてまいりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

本年が、会員や事務局の皆様にとりまして、幸多き一年でありますことをお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

## 新しい年を迎えて

会長 岩澤 政善



明けましておめでとうございます。

会員ならびにご家族の皆様には、穏やかに新年をお迎えることとお喜び申し上げます。

また、日頃から品川区シルバー人材センターの事業にご理解とご協力を頂きまして誠に有難うございます。

昨年は、センター創立40周年の記念の年であり記念式典の開催や記念誌の発行など盛大に記念行事を行うことができました。これも日ごろからの会員の皆様のご協力と活発な活動のおかげであると感謝申し上げます。

ところで、この記念行事の講演会の中にもありましたが、高齢者の中で自立した健康生活を過ごしているが、要支援・要介護状態になる前の予備軍をフレイルと言うそうです。そして日ごろから働くことを通じて健康の維持、生きがいを促進しているシルバー人材センターの会員は、確実に一般の方々と比べてこのフレイルの該当が少ないという調査結果が出ているそうです。

このような調査結果は、私たちセンターの活動がいかに有意義であり、また社会貢献に大いに寄与しているかを裏付けるものとして大変励みになるものであり、センターがますます発展できるようにと理事会、事務局も決意を新たにしているところでもあります。

今年もまた一年が充実した年となるように、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りして、年頭のあいさつと致します。



平成29年度上半期の執行状況について

事務局長  
久保田 孝之

十月の理事会において報告のあった上半期の事業実績についてお知らせいたします。平成29年度の契約金額は、現時点では6億3千万と目標12億5千万の50%となっております。数字的には昨年度とほぼ同様の到達度になっていますが、毎年徐々に実績が減少傾向にあります。特に民間部門においてはジリ貧状況が続いており、一部で言われているような景気の回復の効用がこちらまでには浸透していないことが伺えます。下半期は年末年始の関係もあり実績が伸びていかないことが予想され、大変厳しい状況になっております。今後、新規の仕事の獲得が課題になっております。就業実人員は既に93.0%と引き続き高い数値になっております。

一方、会員数については昨年度同期と比較するとやはり約43名の減と減少傾向が依然として続いております。先日、行われた「シルバー人材センター体験の集い」には多くの区民の方が訪れそのうち何人

かの方は新規入会していただきました。来所された方に「どのような方法で集いの開催を知ったのか」と聞いたところ、町会の案内ちらし、友達に誘われたと言われた方が多い状況でした。今後も事務局として多様な機会を通じてのPRを検討しておりますが、何となくも決め手となるのは、会員さんによる口コミです。ご近所、お友達、お知り合いの方に今一度声をかけるなど勧誘へのご協力を引き続きお願いいたします。

年間事業目標と上半期の執行状況

	29年度目標 (28年度実績)	29年度 上半期	目標との 達成率
1 会員数 (名)	2,600 (2,438)	2,418	93.0%
2 受託件数 (件)	17,000 (17,701)	8,831	51.9%
3 契約金額 (万円)	125,000 (125,615)	63,349	50.6%
4 就業実人員 (名)	2,100 (2,087)	1,955	93.0%

「自転車シミュレーター講習会」を実施しました

11月15日(水)10時  
本部2階の第一集會室にて

この講習会は、モニターに表示された画面を見ながら自転車を操作して、自分の運転が交通安全上問題ないか、周囲への気配りなどのぐらい行っているかななどを点検する目的で行われたものです。

センターにおける傷害事故の中で、転倒事故に続いて多いのが自転車を使用する事故です。そこで、今回の講習会には39名の方が受講しましたが、特に夜間に自転車を利用している学校施設開放管理班などに声をかけました。

始めに久保田局長が挨拶をして、続いて品川警察交通総務課の鈴木係長から時にはクイズ形式での問題ありと内容豊富な講義があり、皆さん真剣に楽しく受講しました。そしていよいよ自転車のシミュレーターの乗車体験です。今回の講習会では、3台の自転車シミュレーターを使用しました。最初は戸惑いながらの運転操

作で時々後方確認等を指摘されていましたが、だんだん慣れてくると安全確認もスムーズにできるようになりました。

当日実施したアンケートの声を拾うと、「大変参考になりました。自分の能力を知り事故につながらないように気をつけようと思った」「普段はあまり乗らないようにします」などの感想もありました。来年度以降も機会があれば実施致したいと考えております。最後に中井安全管理委員長の閉会の挨拶で無事終了となりました。



自転車シミュレーションを実施中

## 不適格就業会員の 措置要綱について

十月の理事会において「不適格会員の措置要綱」を決定いたしました。この要綱を設置した理由は次の通りです。

センター通信でも簡単に説明しましたが、多くの会員の皆さんは就業規約や安全就業基準、さらには発注者との契約内容に基づいて適切、真摯にお仕事に従事していただいております。

しかしながら、一部の会員さんにおいては年間数件、就業規約違反や契約違反、さらには就業現場での悪質な不適切行為を犯してしまおう方がおられました。このような事件が起きるたび、職員が事実を調査した場合によつては速やかに自ら退会してもらった会員もいます。今後はこのような事態を再度引き起こさないようにセンターとしてのルールを確立し、就業の適正化を図っていくことを目的に要綱を設置したものです。このような要綱はこれまで少なくとも第4ブロックの他の人材センターでは既に設置済みで品川のセンターは設置について出遅れていました。

内容を説明しますと、まず不適格会員とは、就業時間、仕事の仕

方など就業先でのルールを守らないもの、健康上の理由から責任を果たすことが困難なもの、就業先の秩序を乱すもの、利用者等に迷惑をかけるものその他、怠慢、不注意により重大な事故、損害を生じさせるもの、不正な行為をはたらくものなどでありそれが頻繁かつ悪質で許容範囲を超えているものと定義しています。これらの違反者には訓戒、就業中止、退会勧告の措置をとることになっていきます。また、就業適正化委員会を設置し、当該事項の調査や措置の決定をしますが、事務局長への委任事項で措置をする場合もあります。さらには、退会勧告を受けたものには弁明の機会を設けて異議申し立てを認めております。いずれも今後の適切な活動と運営のために必要な措置をとることが趣旨ですので皆様の理解をお願いしたいと思っております。

なお、今回の「シルバーしながわ」の配布時に要綱を同封しておりますのでご覧ください。

## 「フランス語」ときどき 「英会話講習会」 好評です！

この講習会は、会員の知的好奇心をくすぐり定期的に集まって受



フランス語でロールプレイング中

講することによって仲間意識を醸成し、同時にセンターから紹介される新たな仕事にもチャレンジ精神を持って対応できるようにする。さらには非会員の一般の方にも呼びかけ会員の入会強化に繋げていくという目的で実施しているものです。

第一回目の講習会は、センター通信で募集しましたが25名の応募があり先着順で10名を決定し、東大井支所で4月6日開講しました。1クール6か月の長期間の講習会です。講師は、会員の「金地益良」さんで東京都の外国人おもてなしガイド（英語・フランス語）に

登録し英検1級・通訳案内士等の資格を持ち、仕事でフランス赴任の経験もあります。

まず、フランス語の授業の目標は、フランスを旅行した時にレストランやカフェなどでカッコ良く注文できるようにすることです！

ときどき英会話では、2020年の東京オリンピックなどで街や駅などで道に迷っている外国人がいたら、片言でも良いから目的地までの道案内ができるようになりたいということですよ！！

**さあ、授業がスタートしました。**

フランス語の授業の様子を少し紹介すると、日本語の「あいうえお」に当たるABCの発音の仕方からです。約束ごととして3つの「読まないぞ」があり、

- ① 単語の最後の e は「読まないぞ」 France (フランセ)
- ② 単語の最後の子音は「読まないぞ」 Paris (パリ)
- ③ H (発音アッシュ) は「読まないぞ」です。

**皆さんお分かりいただけましたか。**

講習会は座学だけではありません。大きな声を出し、楽しく歌います。アルファベットの歌・さくらんぼの実る頃・オーシャンゼリゼ・河は呼んでいるなど。4月から始まった講習会は好評で、最初のころは生徒達が会場に入ってくるドアの音も静かでおおずおおずしてい





“オオ シャンゼリーゼト”

ましたが、3回目位からは明るく皆口々に「ボンジュー」（ルは発音しない）と大きな声で事務所の職員に挨拶してくれます。講習が進むにつれて、楽しそうに目を輝かせ生徒同士が顔馴染みになってくると直ぐには帰らず仲よし同士で隣の公園で「今日の復習」をして日々を過ごしているそうです。

この第1期生は講習終了後も月2回南品川シルバーセンターで金地先生を中心にグループ講習会を続けるとのこと。

また、第2期生が10月26日（木）スタート。

**来年度も続ける予定ですので會員の皆さん！奮ってご参加ください！**

**初めて実施しました！  
『シルバー人材センター  
体験のつどい』**

平成29年10月12日（木）開催

このイベントは、今まで地区ごとに実施していた入会出張相談会を数地区まとめ規模を拡大して実施したものです。

普段、実際に行なっている仕事や会員同士の交流の場になつている英会話教室を体験してもらうことで、より多くの方にシルバー人材センターを知ってもらい、新しい会員の入会促進に繋げていこうと開かれたものです。

イベントの内容は体験コーナーとして毛筆筆耕体験・英会話体験・包丁研ぎ、他には無料カフェコーナーや体力測定コーナーなどを用意しました。

毛筆筆耕体験では祝儀袋の記名を例に、ご自身の名前を上手に書くコツを体験していただきました。

英会話体験では挨拶や日常会話を体験していただき、センターがお仕事の紹介だけでなく、会員同士の親睦や交流の場としても盛んに活動をしていることをアピールしました。

包丁研ぎはご自分で実践した場

合、怪我の心配があるため体験ではなく実演という形で行ないましたが、会員に研ぎ方や研ぎを行なうタイミングなど熱心に質問される様子も見られました。

体力測定コーナーでは握力・血圧測定その他、椅子を使った立ち上がり体操で自身の健康状態の確認もしていただきました。

パネル写真でのシルバー人材センターの紹介コーナーでは、会場の壁や空いたスペースを活用して写真を掲載しました。実際にセンターで働いている会員の仕事ぶりや笑顔あふれた会員の様子を展示し、生き生きと働くことの大切さを訴えました。

一方、お休みどころとして設置

した カフェコーナーではコーヒーやお茶、お菓子を用意し、個別にセンターの仕組みや、仕事の種類、内容などについての相談も受けました。

当日は曇りでしたが暖かく、来場者は45名を数え、初めてのイベントとしては盛況のうちに終わることができました。今回は、中延・品川北・大井・八潮の4地区合同で地区委員8名、体験コーナーに応援会員6名、職員4名で対応しました。従事頂いた会員さん、お疲れさまでした。

次回は、3月23日（金）10時～3時まで、中小企業センター大会議室で行います。ぜひ皆様も、おいでください。



包丁研ぎ実演の柳沢会員



体力測定コーナー



# 新年地区全体会へのお誘い

開催日	地区	開催場所	開始時間	会費
1月18日(木)	戸越地区	中小企業センター	午前10時30分～	¥1,000-
1月20日(土)	荏原地区	荏原第1地域センター	午前10時30分～	¥1,500-
1月21日(日)	大井東地区	品川第1地域センター	午前11時30分～	¥2,000-
	八潮地区 中延地区	八潮コミュニティプラザ 荏原第2地域センター	午前11時00分～ 午前10時30分～	¥1,000- ¥1,000-
1月28日(日)	品川南地区	品川第1地域センター	午前11時30分～	¥1,500-
	大崎地区	大崎第1地域センター	正午～	¥1,500-
	大井西地区	ウェルカムセンター原	午前11時30分～	¥1,000-
2月 4日(日)	大井地区	中小企業センター	午前11時00分～	¥1,000-
2月18日(日)	品川北地区	品川第1地域センター	午前11時00分～	¥1,000-



各地区のこれまでの歴史などを  
取り上げていきます。 第9回

## 大井西地区のこれまでの歩み

大井西地区委員長 古賀忠壹

大井西地区委員会の活動地域は、JR西大井駅をはさんで東西に広がる西大井1丁目から6丁目です。その昔、品川区内は農業が盛んで江戸や旧東海道沿いの宿場に出荷していたそうで、野菜の洗い場だった「原の水神池」(3丁目)では、今でも水が湧いています。また、初代内閣総理大臣・伊藤博文の墓所(6丁目)もあり、旧町名は大井伊藤町でした。「大井の大佛(おおほとけ)」で知られる養玉院(5丁目)は、荏原七福神の札所の一つ・布袋様も祀られています。私は、そんな地域にある原小学校(現伊藤学園)、富士見台中学校で学びました。

さて、当地区委員会に所属する会員は、120人前後で推移しており、区シルバー人材センターの中で会員数が一番少ない地区です。地区内の総人口19,467人、60歳以上の高齢者数は5,360人(9月1日現在、区調べ)ですから、地区活動がもつと活発になれば会員数が増えるかもしれません。しかし、そう簡単にはいきません。年2回の全体会の出席者は、毎回30人前後、大井

と八潮の2地区委員会との合同日帰りバス旅行も毎年行っていますが、2地区より申込み者が少なく29年度は、10人でした。この年度から委員長を引き受けましたが、地区活動に対する会員の動向をつかみかねています。

が、何らかの改革を迫られています。10年間、交通安全誘導員していますが、「シルバーで大事なのは共助の精神だよ」という旗振り先輩の言葉を、思い出します。地域で高齢者が高齢者を支える時代、総勢6人の地区委員一丸となって活動を推進しています。



養玉院如来寺の大佛(おおほとけ)



### 品川区シルバー成年式に参加して

九月九日(土)「きゅりあん」にて

シルバー成年式は、古希を迎えた七〇歳の方をお招きしてお祝いをする区主催の記念行事で、今年度で25回目になります。今年の対象は五五三二名の方で、そのうち八九〇名の方が出席されました。当日は、記念式典のあと、落語家の古今亭志ん輔師匠等による寄席が行われました。

講演のあと、6階と7階の会場に移動しました。今回から就業相談コーナーを設け、周辺にはセンター会員の日常活動の写真を掲載しました。「今、仕事をしているけど辞めたら何か仕事があるか?」等の来所者からの問い合わせもあり、シルバー人材センターへの関心が潜在的に高いことがわかりました。今後このようなイベントを効果的に活用していきたいと考えております。

ご協力いただいた品川南、大井東地区委員の皆様、大変お疲れ様でした。



就業相談中の事務局長

### 会員さん趣味のコーナー

『アイスクライミング』

生死をかけて挑む自然の厳しさ

大崎地区 笠原 直人 会員

元々、鳥の羽を模造した物を釣り糸に付けるフライフィッシングを嗜んでいたが、視力が低下するにつれて山登りへと変わった。山登りを始めて7、8年の頃、頻繁に出会う同年代の男性に誘われて始めたのがアイスクライミング。今年で4年目、年に2回は挑戦している。

アイスクライミングは登山と異なり、常に死と隣り合わせ。八ヶ岳ではマイナス20度、風速18mで体感温度がマイナス38度になる。ホワイトアウト(吹雪で視界0)の状況で、1歩進もうと足を上げた瞬間、風がビュッと体を持ち上げ、飛ばされて左ひざを岩に強打。しばらく身動きが取れず、一緒に登った仲間の影も徐々に薄れ見えなくなってしまう。その時、もうダメかと思ったが強靱な精神力と意地で登り切って無事下山できた。

アイスクライミングで重要なのは、汗をかくてはいけないこと、登る時は必ず3点確保(支持で登り進める。危険な場所を登るので、安全対策は2重3重にする等。歩き方1つも状況によつては危機回避のためのおいらん歩きをすることや水筒から水分補給の際は、水滴が凍ってコップが外れなくなるので別のコップを使用する等の注意が必要である。

通常生活では起こりえない過酷な環境の生死のせめぎ合いの中、登り切ったときの感情は口では表現できない程の達成感と水と顔合わせで登った後の開けた景色は、過剰なストレスから一気に解き放され心の底から安堵する。この感覚がやめられなくなり、家族にはこの恐怖体験は話さないで、また山へと足が向いてしまう。これは味わってみたいとわからない山の不思議さと快感である。



▲登頂後の喜び“絶景”



▶水壁を登る笠原会員

### 会員さん趣味のコーナー

後世に伝えたい 昔遊び「けん玉」!

大井地区 中畑 健一 会員

「けん玉」と言えば、センター会員の皆様は当然ご存知だと思いますが、昔からの遊びで、一人演技、二人以上の演技そして大人数でやることもあります。

技の種類としては、大皿、中皿、小皿、糸より玉まわし、とめけん、ふりけん、などがあります。それぞれ軸の根元に三日月形に浅く彫った皿の小受(こうけ)と軸の玉受(大受)をおおうけ、中受(なかうけ)、そして軸の先端がとがっている棒先に玉を入れて勝ち負けを競うのが昔の遊びでした。現在では、変った技を競うようになっていろいろな技が登場し、より変化のある技やグレードの高い技を披露するのが「けん玉」になっています。

「けん玉」の歴史を振り返ってみますと、昔は勝負だけではなくその日の吉凶や待ち人などの占いにも用いられたこともあったそうです。安永六年(一七七七年)に「玉拳(すくいたまけん)、拳玉(けんたま)」というものが当時国内雄一の開港地であった長崎から全国に広まったものと考えられています。

「けん玉」は、バランスよくリズムを取りどのようにしたら出来るか知恵を働かすことが健康維持や認知症予防にもなります。私は、かつて伊藤小の「生活科」の授業で子どもたちの前で演技を披露して、「けん玉」の面白さを伝えたことがあります。

これからもこのような昔の遊びを継承してTVゲームやスマホだけが遊びじゃないことを教えてあげて、「けん玉」を復活させましょう!



演技中の中畑会員

会員の皆様 普段やっていること、これからしようと思っていること、どんなことでも結構です。投稿を歓迎します。写真やこんな趣味等募集しています。事務局まで

# 共助会旅行

## 信州秋の味覚を満喫！

### 上田城址公園

### もみじ狩りと

### 戸倉上山田温泉

11月12日～13日の一泊二日で信州の旅にバス3台105名で行ってきました。

1日目は、雲一つない青空に恵まれ車中富士山や紅葉で色づいた山々を眺めていると小諸にあつという間に到着し、味わいの違う十数種類のワインを試飲しました。生島足島神社(いくしまたるしまじんじや)では大きな櫛の木から何とも言えない生命力を感じる事ができました。

夜の宴会では18組の方々が多種多様の踊りやカラオケを披露し、今年から設けられた三役賞の発表で大いに盛り上がりしました。最後には毎年恒例の品川音頭を会場いっぱい広がって披露し、今回は何と2度も踊りました。また、料理も大へん美味しかったと多くの方からお声を頂きました。



▲生島足島神社



▶上田城址



◀リンゴ農園

2日目は、台風と雹により被害を受けたリンゴ農園を訪問。見た目は雹で傷ついていたが、みずみずしく試食の手が止まりませんでした。

上田城址公園ではゆつたりと色とりどりの紅葉を存分に満喫することができました。参加会員の方々に素晴らしい笑顔あふれた旅行だったと言っていただけのこと何よりです。来年もお元気で参加していただけるよう、また新たな気持ちでシルバーでの活動に励んでください。お疲れ様でした。

## 就業相談

仕事のことや職場の悩みなど、理事が相談をお受けします。

- 1月11日(木) 午後1時～午後4時  
本 部 戸 川 理 事  
荏原支部 門 馬 理 事
- 2月8日(木) 午後1時～午後4時  
本 部 阿 部 理 事  
荏原支部 和 泉 副 理 事
- 3月8日(木) 午後1時～午後4時  
本 部 門 川 理 事  
荏原支部 門 馬 理 事

## 会員総数

平成29年11月末日現在

2,438名

男 1,373名

女 1,065名

## あとがき

十月には、「シルバーしながわ設立40周年記念特集号」を会員の皆様にお届けしました。

私たちは、最近十年くらいについては記憶にあると思いますが、それ以前については不明の方が多いと思います。先輩の方々の業績をお分かりいただけたいと思います。

十一月には、一泊の共助会旅行を実施。事故もなく楽しい旅行だったと思います。参加の皆さんご苦労様でした。

これからもいろいろな行事が行われます。一人でも多くの皆さんが参加して、連帯と共働の輪を拡げることがを期待します。

寒さ厳しい折、体調管理に十分配慮して、シルバー人材センターの仕事に支障のないようお互いに頑張りましょう。

(担当理事 柳下 恭治)

